

夢のつばさ♥プロジェクト

「夢のつばさ♥プロジェクト」は、東日本大震災で親を失った子どもたちを長期にわたって支援することを目的として、お茶の水学術事業会を中心としたNPO法人4団体によって進められている事業です。

2015年秋の交流会

- 【実施日】 2015年10月18日(日帰り)
 【開催地】 仙台市：榴ヶ岡公園、仙台市青葉体育館ほか
 【参加内訳】 小学生11名、中学生6名、大学生ボランティア26名、社会人ボランティア3名

夏・冬の宿泊キャンプに参加した子どもと心の交流を続けるために、春・秋に被災地で行う日帰り活動も5回を数えます。約2ヶ月ぶりの再会とあって、みなそれぞれ、様々なできごとを聞かせてくれました。大学1年生を中心に企画したチーム対抗「ケードロ」や「手つなぎおに」で思い切り走った後は、青葉体育館会議室でハロウインのランタンの工作を楽しみました。子どもの中から「今度は自分達で交流会イベントを企画したい」という声も出て、冬キャンプで計画を話し合う事になりました。子ども達の成長が見られた一日でした。

2015年冬のクリスマスキャンプ

- 【実施期間】 2015年12月23日～26日
 【開催地】 (株)ブリヂストン保養所奥多摩園(青梅市)
 【参加内訳】 小学生17名、中・高生8名、大学生ボランティア34名、社会人ボランティア/協力者13名(看護師を含む)

【主な内容】

12月23日	開会式、アイスブレイク、食育講座
12月24日	朝の勉強会、トランプ大会、クリスマス会、音楽会
12月25日	朝の勉強会、写真立て作り、子どもミーティング
12月26日	閉会式、写真スライドショー

開会式で、「失敗しても大丈夫、いろいろな事に挑戦しよう」というテーマを発表し、「携帯電話や電子ゲームなど一人で遊ぶものは使わない」という夢のつばさのルールを掲げて冬キャンプを開始しました。夕食後には歯科医の先生が「口は何をするところ?」と題して、五感で食を楽しみ健康に生活しようというお話をしてくださいました。目をつぶり、鼻をつまんでフルーツグミを食べると、味の変化が全く分からない事を体験して、子ども達も興味津々でした。

2日目は、巨大トランプ大会で体を動かした後、ダンボールでクリスマスツリーを手作りし、中学生がカッターを使い、小さい子は折り紙や針金でオーナメントを作って飾りました。大きなツリーもみなで飾りつけ、クリスマスの用意を整えたところにサンタさんが登場。プレゼントをもらうのは、やはりとてもうれしそうです。夕食は心づくしのバイキングで、子ども達の好きなものが並びました。今回は風邪で熱を出す子も無く、みな食欲旺盛で、デザートケーキまでたくさん頂きました。音楽会ではバイオリンとアコーディオン(&ピアノ)のお二人がサンタガールの衣装で楽しいクリスマスソングを演奏してください、子ども達も大喜びでした。



輪になって歌おう



音楽会

3日目には写真立て作り。紙粘土で枠を縁取ったり、テープやビーズや紙をコラージュしたりデコパージュしたり、思い思いに飾り付けしました。この写真立てに、キャンプで撮った写真を入れて閉会式にプレゼントしました。午後は折り紙をしたり、漫画を書いたりしながら子ども達といろいろ話をする自由時間をたっぷりとりました。秋の交流会でイベント企画作りを提案した子ども達は、この時間に子どもミーティングを開いて、次の春の行事について話し合いました。夢のつばさを本当に楽しみ、次はこんな事がしたいと話すようになってきた子ども達ですが、中学生になると学校の部活動で参加できなくなる事があります。休みをすべて拘束するほどの部活動はいかがなものかなと思いつつ、冬キャンプを終えました。



閉会式で奥多摩園の方に感謝

(夢のつばさ♥プロジェクト)

ご寄附のお願い

【口座】三井住友銀行 大塚支店(店番号227) 普通 1284200

【名称】特定非営利活動法人 お茶の水学術事業会 理事長 平野由紀子 ※ 夢のつばさプロジェクトの専用口座です。

ご寄附いただく際には、ご芳名、ご住所(連絡先)を下記までお知らせください。

※ 恐れ入りますが、税金控除の対象にはなりませんので、あらかじめご了承ください。

連絡先：事務担当 滝澤公子 TEL&FAX：03-5978-5362 Email：tsubasa@npo-ochanomizu.org